

クスノキ通信

経営者の「パワハラ」許せない！

興国産業支部が団体交渉でたたかす

去る三月一日に新たに組合結成し建交労広島県本部に加盟した「興国産業支部」の仲間は、三月一日、六月十七日(土)に三回目的の団体交渉を本社で行いました。

会社側からは、三井社長と顧問弁護士の本田氏ら三人が出席、組合からは、興国産業支部の門田委員長、県本部の小林県委員長、福山地区労会議の中藤議長(建交労特別執行委

識も反省もないに等しい

員)、福山地域支部の竹中委員長、そして興国産業支部の組合員など一人が参加しました。

社長は「パワハラ」した認識も反省もないに等しい

この日の団交では、組合は夏季一時金の要求も出しましたが、交渉の半分は組合結成のきっかけでもある「社長のパワハラ問題」について交渉に参加した仲間から「病身の親の見舞いのため一か月前に有給休暇の願いを出したが社長からダメと言われ、親の死に目にも会えなかった」という「パワハラコメント」について追及しましたが、同席した顧問弁護士は「気の毒な事をした」と言いましたが、社長からは反省の言葉などはまったくありませんでした。



建交労広島県本部に加盟した「興国産業支部」の皆さん (3月11日・福山市内)

他のパワハラ事案も出されましたが社長はパワハラした認識も反省も

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
〒七三〇〇八五三
広島市中区堺町一丁目二九一三〇三
TEL (〇八二) 二三五三〇五〇
FAX (〇八二) 二三五三〇五二
e-mail
ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp

ないように思え、組合側は「パワハラをなくすための研修会」に参加することを要請しました。

この日組合は、夏季一時金要求も提出しました。組合側は一律支給を要求しました。

交渉では「組合を認め、不当労働行為はしない」ことを確認するとともに、一時金については、この日は合意には至りませんでした。

組合結成で仲間の雰囲気も変わった

賃上げについては、前回と同じ五〇二四円でした。この日の交渉では事前の打ち合わせでも「社長のパワハラを追及することを中心に行いました。組合結成の先頭に立って指導した福山地区労会議の中藤議長は「興国産業支部の仲間は組合を結成して、団体交渉のたびに、雰囲気も変わってきた」と述べていました。

仲間たたかいはいいよこれから本番となります。



ボーリング交流会に参加したみなさん (4月30日・呉市)

楽しかったです、また秋にもやりたいですね

ボーリング交流会に「三人

小林豊数県本部委員長の呼びかけで、四月三〇日(日)に呉市のマリンボウルで「ボーリング交流会」が開催され、ダンブ支部、興国産業支部、広島支部、鉄道支部から一三人が参加しました。広島支部の廣木基子さんの友人三人も参加され、4レーンを貸し切りして行いました。参加者は「久しぶりに汗を流し楽しかったです。また秋にも出来たらいいですね」と話していました。

建交労広島県本部 第二五回定期大会

〇とき 一〇月七日(土) 午後一時三〇分より
〇ところ 広島市内(未定)

八月一日(火)開催の県本部委員会で、さらに具体的にします。諸般の都合により土曜日に設定しましたので、関係者は日程を確保されるようお願いいたします。

徒然草

岸田政権は、紙の健康保険証をマイナンバーカードに紐(ひも)づけすることを推進しているが、全国でも広島県内でもトラブルが続出している。◆今月はじめに県内で開業する医師・歯科医師などの団体広島県保険医協会が記者会見で明らかにした。医療機関にアンケート調査をしたところ回答があった6割を超える医療機関が「トラブルがあった」と回答、「保険加入者の情報が正しく反映されていなかった」(131件)、「他人の情報が紐づけされていた」(4件)、また「トラブルが解決せず一時的に一〇割負担で請求した」(19医療機関) ◆トラブルがあった医療機関の多くは従来の紙の健康保険証で対応したということで、患者には健康保険証を持参することを呼びかけているとのこと ◆政府の紙の保険証の廃止方針については「時事通信」の7月世論調査でも「延期すべきだ」「撤回すべきだ」が合わせて7割になる ◆医療現場の医師からも「命にかかわる問題で医療現場の専門家や関係者があげている声をさほど大きな問題としてとらえることなく、単に政権の支持率との兼ね合いでしかとらえない政治家の感覚が恐ろしいと思う」(海原純子医師・毎日新聞)と厳しい声 ◆何も問題ない紙の保険証をマイナンバーカードに紐づけする一番の理由は、カードで得られるばうだいな個人資産情報を商売に活用したいからである(M)

組合大会に全組員が参加

リクシル分会が第三回大会

建交労広島県本部山陽リクシル分会は、6月25日(日)第3回定期大会を広島市内で開催、県本部の小林委員長と山田書記長リクシルの仲間全員が参加しました。(写真下)

小林委員長がG7サミットとの関係で核兵器禁止条約のことに触れるとともに、広島支部委員長の廣木さんが先日の「のど自慢」で特別賞を受賞したこと、そして、3月に県本部に「社長のパワーハラは許せない」として「興国産業支部」という新しい職場支部が誕生し、すでに3回団体交渉を行い、元気に活動していることを紹介「労働組合を結成し良かった」という状況であることを述べ「リクシルの仲間を増やしてもらいたい」と挨拶しました。

山田書記長が、20年から今日に至るリクシル関係の団体交渉などの経過報告と会計について報告、その中で、今後の会社との団体交渉には山陽分会からも参加しよう」と強調しました。

討論では、「MEの仕事が減ってきている」「ごく最近MEに仕事を回す仕組みが変わってきている」など仕事での不満や不安が語られましたが、「今後の団体交渉には参加する、今度ある時は私が参加します」(松本分会長)などと活発な議論となりました。役員については、引き続き松本昌也分会長、杉原彰会計監査を再任しました。



第三回定期大会を開催したりリクシル分会の仲間の皆さん(六月二十五日・広島市内)



写真は上から広島労働局、広島県庁で要請書を渡す小林豊数委員長、と三原市役所に要請する参加者のみなさん(7月5日)

三原市は、高齢者事業団への契約単価を適正に 二〇二三年事業団・高齢者キャラバン行動広島に参加

七月五日(水)は、事業団・高齢者部会中国ブロック広島行動に取り組みました。三日島根から始まり四日山口での県庁や労働局要請行動が取り組まれ、広島県内では午前中に広島労働局と広島県庁に要請懇談を行い、午後三時から三原市に要請行動を行いました。三原市への要請には山室まこと事業団部会事務局長(島根県本部委員長)と

三原支部・事業団から三人と県本部小林委員長など合計一〇人が参加、三原市からは商工振興課の職員が一名しか出席せず、「要請内容を聞くために出席しました」と発言したため、参加者の怒りを買いました。「要請書は、事前に提出しており、関係課からも当然出席が

呉の日本製鉄の閉鎖

のことなど話題に

7月4日(火)、建交労広島労働支部の執行委員会を開催しました。久しぶりの会議でしたが県本部小林委員長と支部の執行部が参加しました。会議では、「健康相談会」のことに関連して呉市の日本製鉄が9月末で閉鎖になることも話題になりました。

あるものと思っていた。もっと真面目に対応してもらいたい」と三原支部の藤井康子書記長から厳しい追及が行われました。
改めて回答する場を持つと約束
参加者から「労働局からも三原市の最賃割れ発注の対応は適切でない」と以前から改善を求められている」と指摘するなど、早急に改善することを強く要求しました。参加した商工振興課の職員は、「改めて回答する場を持つようします」と約束しました。

今後の組合日程など

- 八・一 反核キャラバン宣伝署名行動 (建交労青年部と共同で) 元安橋
- 八・一 県本部委員会
- 八・四 国民平和前行進が平和公園に到着
- 八・六 被爆七八年広島、ヒロシマデー集会 (グリーンアリーナ)
- 灯ろう流し (太田川河川敷)
- 八・九 被爆七八年長崎、原水爆禁止世界大会・長崎
- 八・一一 (山の日・お盆休み) 一六日まで
- 八・一七 中国地協組織対策会議
- 八・二五 建交労中央執行委員会
- 八・二六 建交労二五回定期大会 (二八日)
- 九・一六 広島県労連大会
- 一〇・七 広島県本部二五回定期大会

暑中お見舞い
申し上げます。



※県本部の「クスノキ通信」は山田書記長が交通事故による長期入院のため、三月〜六月まで発行を休ませていただきました。今月号(七月)より毎月二五日付で発行しますので、ご協力をお願いします。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、ファクスや、「メール」でお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp
Fax 〇八二一三三五三〇五